



事業番号	10 04 02	事業改善シート(令和4年度実施事業分)		■当初要求	□当初予算案	□補正予算案	□点検
事業名	森林の適正管理及び保全に関する事業	部局	林務部	課・室	森林づくり推進課		
		実施期間	S27 ~	E-mail	shinrin@pref.nagano.lg.jp		
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)							
8つの重点目標	⑦健康長寿日本一を維持						
総合的に展開する重点政策	4-1 県土の強靱化		4-5 地球環境への貢献				

1 現状と課題

目指す姿	<p>○森林法第25条で掲げる目的を達成するため、特に重要な森林を農林水産大臣又は県知事が保安林に指定し、適正に管理、保全することで公益的機能の発揮を目指す</p> <p>○森林法第10条の2の規定により、1haを超える森林の開発計画に対し、適正な調査及び指導により森林の代替機能が維持され、安全が確保されているか確認するとともに、無秩序な開発の防止を目指す</p>	
これまでの取組	<p>○森林の持つ公益的機能を発揮させるため、特に重要な森林を計画的に保安林に指定するとともに、既指定地を適正に管理する</p> <p>○1haを超える森林の開発行為に対して、適正な調査、指導、監督等を行い、無秩序な森林の開発を防止する</p>	
令和3年度の点検結果・現状分析	課題	今後の方向性
	<ul style="list-style-type: none"> 指定施業要件の変更は、例年3,000haを超える面積を変更しているが、目標としている全体面積を達成するには至っていない。 紙媒体の保安林台帳を効率的に管理・共有するために、保安林台帳の電子化が必要である。 適正な管理が求められている保安林指定地において、損失補償に係る適正な補償を行うため、対象となる保安林すべて調査の必要がある。 林地開発制度や手続きに必要な書類等の理解不足による無秩序な開発の恐れが生じている。 	<ul style="list-style-type: none"> 間伐計画がある保安林や大面積の水源林のある保安林等の優先度の高い保安林の指定施業要件の変更の実施により森林の公益的機能の更なる発揮を図る。 保安林情報を迅速に更新・情報共有することにより、効率的な保安林管理業務を進めるための保安林台帳の電子化を実施。 森林の公益的機能の維持を図り、既に指定された保安林の適正な管理の実施のため、既指定地における保安林損失補償の見直し調査を実施。 開発行為者に対する制度説明や関係書類の補正指示等の適正な指導を行い、林地における無秩序な開発の防止の徹底を図る。

2 令和4年度事業内容

予算のポイント・主な取組(予定)	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 優先度の高い保安林の指定施業要件の変更の実施 ・会計年度任用職員の雇用を行い、指定施業要件の変更の手続きに必要な調査の補助や書類の作成補助を実施 ✓ 効率的な保安林管理業務を進めるための保安林台帳の電子化を実施 ・紙媒体の保安林台帳を電子化し、保安林業務を効率化 ✓ 既に指定された保安林の適正な管理の実施 ・既指定地における保安林損失補償の見直し調査を実施 ✓ 林地における無秩序な開発の防止の徹底 ・林地開発許可調査、審査、指導等を実施 	 
	DX、ゼロカーボン、共生社会づくり、学びの県づくりに資する取組	<p>【DX】現在紙媒体で管理している保安林台帳を電子化することで、保安林の業務を効率化し、DXの推進を図る。</p> <p>【DX】保安林損失補償の調査の見直しにあたり、汎用性のあるデータ整備を行うことで、業務を効率化し、DXの推進を図る。</p> <p>【ゼロカーボン】ABMORIの植樹活動を通じて、長野県のSDGsの取組を発信するとともに、ゼロカーボンの推進を図る。</p>

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし、—:数値なし]								区分(単位:千円)					
No	成果指標	単位	R1年度	推移	R2年度	推移	R3年度(見込)	R4年度目標値	R2年度 R3年度		R4年度		
1	林地開発許可制度に係る違反行為に対する措置	%	100	→	100	→	100	100	前年度繰越	0	0	要求	91,544
2	【参考指標】保安林の適正管理(指定、指定施業要件変更箇所)の面積	ha	3,900	↑	11,598	↓	5,590	4,319	当初予算	26,042	42,322	要求	91,544
3									補正予算	-2,506	0	予算案	
4									合計(A)	23,536	42,322	要求	91,544
5									うち一般財源	4,961	9,669	要求	62,707
									決算額(B)	20,327		予算案	
									職員数(人)	15.0	15.0		15.0
設定理由	<p>1. 森林の無秩序な開発を防止するため、林地開発許可制度に係る違反行為に対しては是正措置等を講じた割合を成果指標に設定</p> <p>2. 森林法に基づく保安林の指定及び既指定地を適正に管理するための面積を成果指標に設定(参考)</p>												
目標値	<p>1. 森林を違法に伐採・開発することにより、土砂災害等の危険性が高まるため、違反行為が確認された場合は、事業者に対し是正措置等の対策を講じ、その割合を100%とすることを目標とする。</p> <p>2. 旧基準で制定された保安林の指定施業要件(総面積145,156ha)を、優先度の高いものから変更を行い、年間約2,800haの変更を目標とする。また治山事業施工地など、県民生活の保全上重要な森林を保安林として指定するため、年間約1,500haの指定を目標とする。</p>												

事業番号	10 04 02	事業改善シート (令和4年度実施事業分)		■当初要求	□当初予算案	□補正予算案	□点検
事業名	森林の適正管理及び保全に関する事業			部局	林務部	課・室	森林づくり推進課

細事業 No.	細事業名		R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	
1	保安林整備受託事業費		20,506 千円	28,600 千円	要求 予算案 21,080 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)			
1	保安林指定・解除調査	直接	会計年度任用職員の雇用(延べ48ヶ月)、境界確認、林況調査、取りまとめ、所有者へ通知 【金額 9,288千円】			
2	保安林適正管理調査	直接	保安林管理図の作成、新規指定された保安林情報の電子化(70件) 【金額 5,246千円】			
3	保安林損失補償金	直接	1号から3号保安林における立木の伐採制限に対する利子相当分の補償 【金額 752千円】			
4	保安林整備推進事業	直接	会計年度任用職員の雇用(延べ48ヶ月)、境界確認、所有者へ通知 【金額 5,794千円】			

細事業 No.	細事業名		R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	
2	保安林整備管理事業費		5,058 千円	6,661 千円	要求 予算案 6,537 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)			
1	保安林指定・解除等調査	直接	会計年度任用職員の雇用(延べ21ヶ月)、境界確認、林況調査、取りまとめ、所有者へ通知 【金額 3,916千円】			
2	保安林管理業務	直接	標識の購入(138本)と設置補助(約50日)、会計年度任用職員の雇用(延べ4ヶ月)、台帳整備 【金額 1,872千円】			
3	保安林損失補償金	直接	4号以下の保安林における立木の伐採制限に対する利子相当分の補償 【金額 749千円】			

細事業 No.	細事業名		R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	
3	林地開発許可制度実施費		478 千円	501 千円	要求 予算案 706 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)			
1	林地開発許可制度等実施事業	直接	開発許可調査、測量、審査、許可条件履行調査、指導等(開発見込面積 209ha)、森林審議会の開催(5回)			

事業名	森林の適正管理及び保全に関する事業	部局	林務部	課・室	森林づくり推進課
-----	-------------------	----	-----	-----	----------

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算
4	SDGs森林の再生発信事業	1,360 千円	1,360 千円	要求 予算案 1,360 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)	
1	SDGs森林の再生発信事業	直接	ABMORIの植樹活動を通じて、長野県のSDGsの取組を発信する ①市町村等が行う植樹活動へ「長野宣言」賛同者が参加しSDGsの取組を体験する ②長野宣言賛同者による長野宣言の概要及び自国のSDGsの取組の発表する ③会場へのパネル展示を行う	

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算
5	保安林台帳電子化事業	0 千円	0 千円	要求 予算案 52,961 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)	
1	保安林台帳電子化事業	委託	令和4年度に保安林台帳のシステム設計を行い、令和5年度にシステム構築し、令和6年度に保安林業務を集約する。 ①保安林台帳のシステム構築 ②保安林台帳(紙媒体)情報のシステム入力	

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算
6	保安林適正管理事業	0 千円	5,200 千円	要求 予算案 8,900 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)	
1	保安林適正管理事業	委託	保安林損失補償の対象となり得る既指定地について、調査の見直しを実施する ①既指定地について、航空レーザ測量を活用し、保安林の林況、治山施設の有無、資源成長量の推測等の調査を行う ②損失補償調査で必要となる基礎情報を整備し、補償額を算定するためのシステム化を図る	